

オールふくしまDX課題解決促進会議第1回生活交通分科会（オールふくしまスマートシティ推進事業概要）

「誰もが行政手続をオンラインで行える社会」及び「個人及び事業者に最適な情報やサービスが自動で提供される社会」を実現するため、県が全県的に共通のデータ連携基盤を整備し、県としての共通サービスや市町村が整備する個別サービスを実装することにより、マイナンバーカードの利活用及び県内全59市町村のスマートシティに係る取組みを加速させ、復興・再生と地方創生を切れ目なく進め、県民一人一人が豊かさや幸せを実感できる県づくりを推進する。

福島県デジタル化推進計画

目指すべき姿

誰もが行政手続をオンラインで行える社会

行政手続のオンライン化を積極的に推進し、統一した分かりやすいユーザーインターフェースの導入、県民及び事業者の情報リテラシー向上支援等により、オンライン利用率を引き上げる。

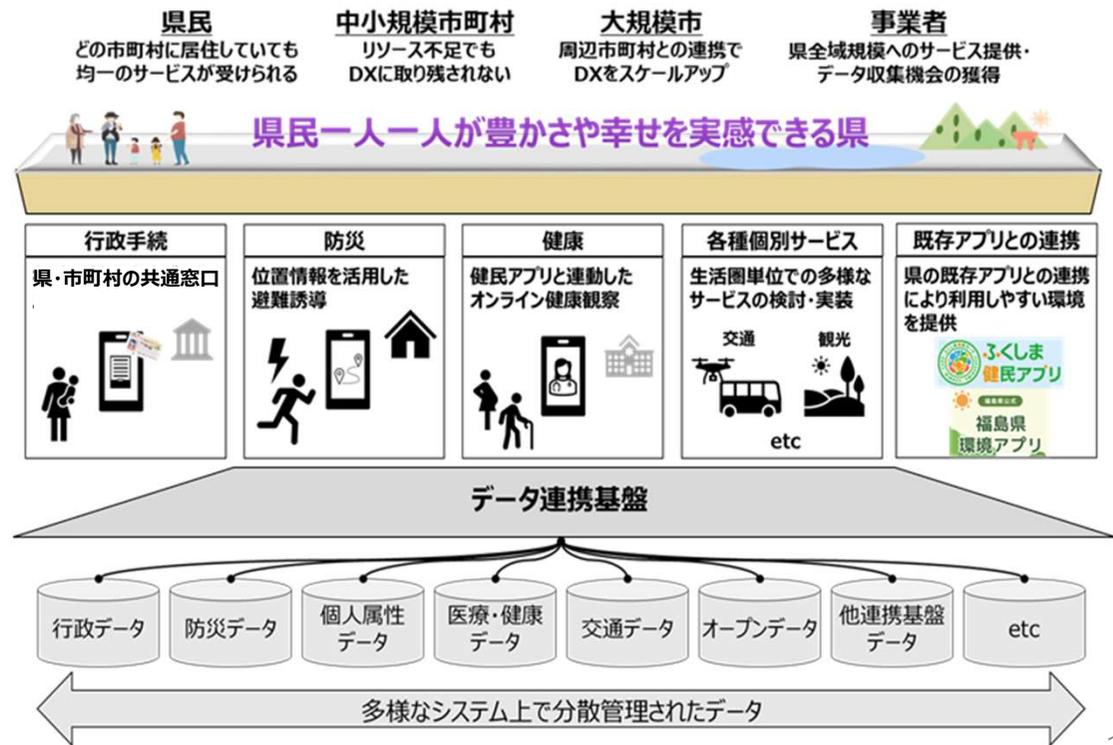
指標名	現況値 (R3)	目標値 (R7)
県及び市町村の行政手続のオンライン利用率	48.2%	80.0%

個人及び事業者に最適な情報やサービスが自動で提供される社会

県民及び事業者に対する基本的な行政サービスに加え、県民及び事業者からデータを提供してもらうことで、防災や観光、健康等様々な分野において、各々に必要な情報やサービスが、必要なタイミングで自動的に届くような仕組みを、市町村や事業者と協働で作る。

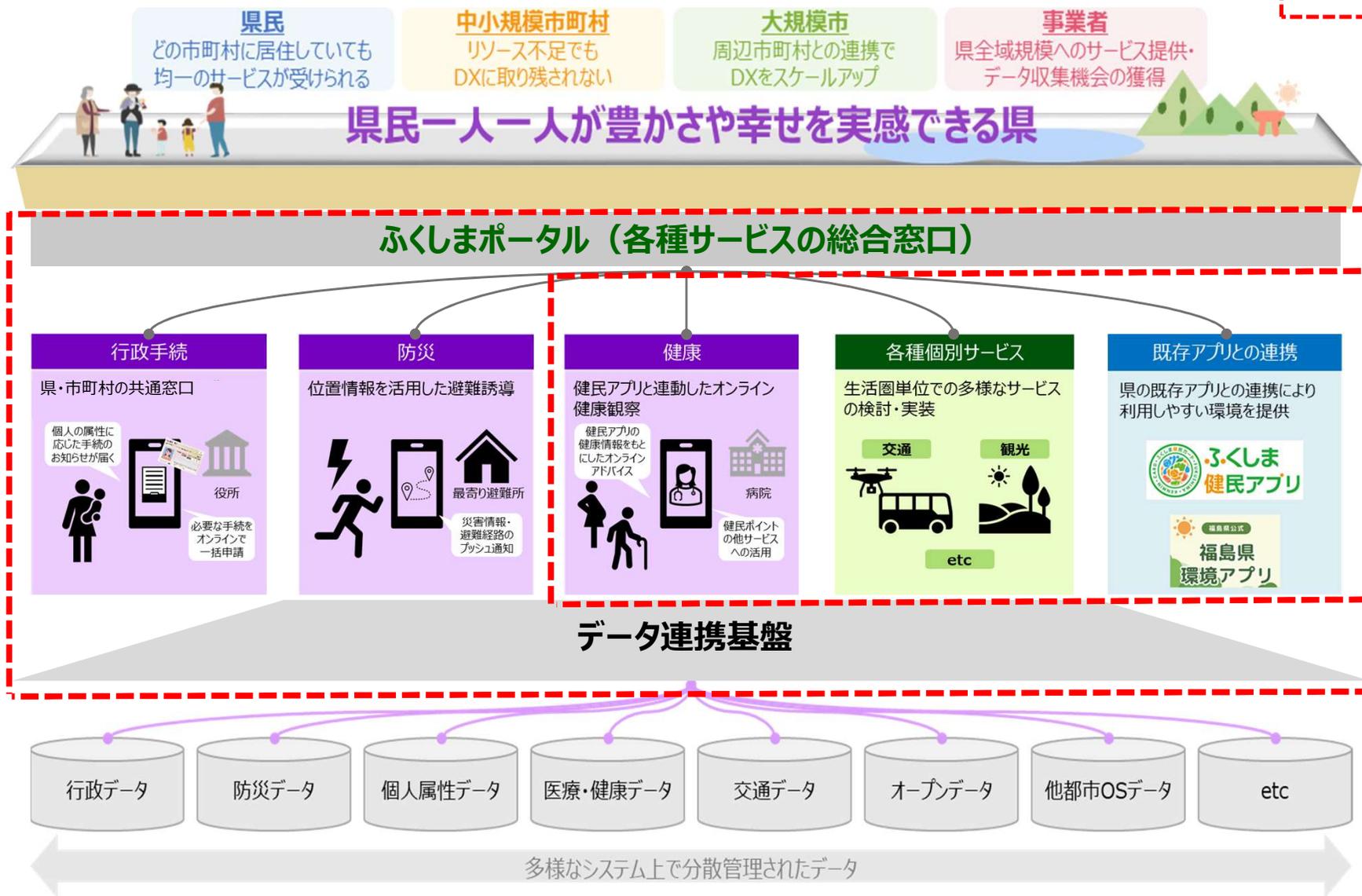
指標名	現況値 (R3)	目標値 (R7)
スマートシティに取り組む市町村数	1市町村	7市町村

県が構築したデータ連携基盤を活用し、市町村が個別サービスを実装する。県としても、「行政手続」、「防災」、「健康」分野のサービスを実装し、市町村に展開する。



オールふくしまスマートシティ推進事業で実現する将来像（イメージ）

R5構築



データ連携基盤を活用した地域課題の解決に向けた検討会議等について

(新) オールふくしまDX課題解決促進会議

地域の課題解決に向け、これまでは市町村ごとにデジタルサービスやシステム構築の検討を行うことが多かったため、広域的に使いやすいサービスの導入や他市町村への横展開が困難なことや、開発にかかるコストやマンパワー等の市町村の負担が大きいことなどの課題があった。

今回、全県的に共通のデータ連携基盤を構築したことを踏まえ、新たに、県と市町村等で構成する「オールふくしまDX課題解決促進会議」を設置し、各市町村が導入している住民向けサービスの情報を共有するとともに、多くの市町村が抱える共通の課題等について、県が構築した全県的に共通のデータ連携基盤を活用した新たなサービス構築の検討・導入を進めることにより、地域の課題解決を図る。

《構成》

- 議長 : 企画調整部次長 (情報統計担当)
- 構成員 : 県及び市町村 ※県の関係課室: デジタル変革課、広報課、危機管理課、生活交通課、一般廃棄物課、健康づくり推進課
- 事務局 : デジタル変革課 (事務局長: デジタル変革課長)
- アドバイザー : 福島県CDO補佐官、コンサルティング会社 (予定) 等
- オブザーバー : 地方振興局

《具体的な協議内容》

- ① 地域の課題解決のための新サービス構築等の検討
- ② 各市町村のデジタルサービス導入状況の共有



R 6の検討テーマは「生活交通」、「広報連絡」、「ポイント連携」の3点とし、各テーマ毎に分科会を設置して検討を進める。

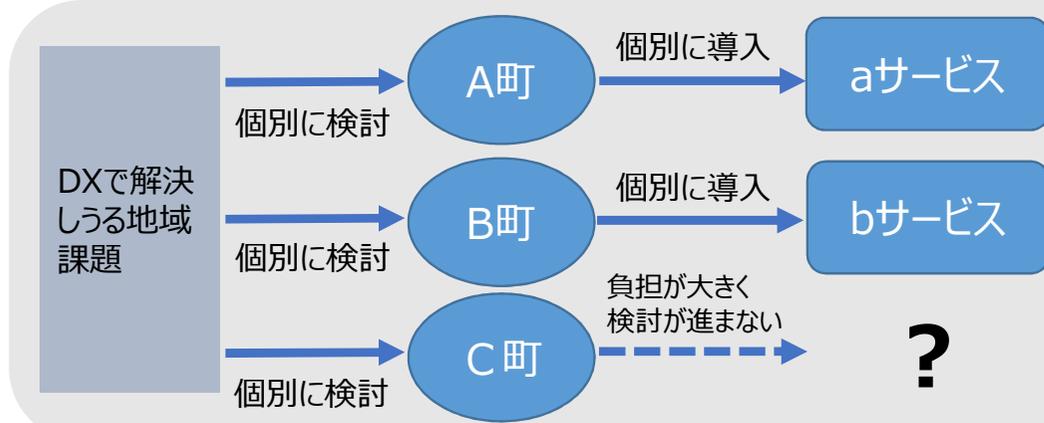
(新) オールふくしまDX推進研修会

全県的に共通のデータ連携基盤を構築したことにより、オールふくしまでDXを推進していくベースが整いつつある。DXの取組をさらに推進していくため、市町村職員等を対象として、先進的なスマートシティの取組などを共有する研修会を開催し、意識の醸成を図る。

(上記会議の際に合わせて開催予定。年間3回程度)

会議で目指す姿

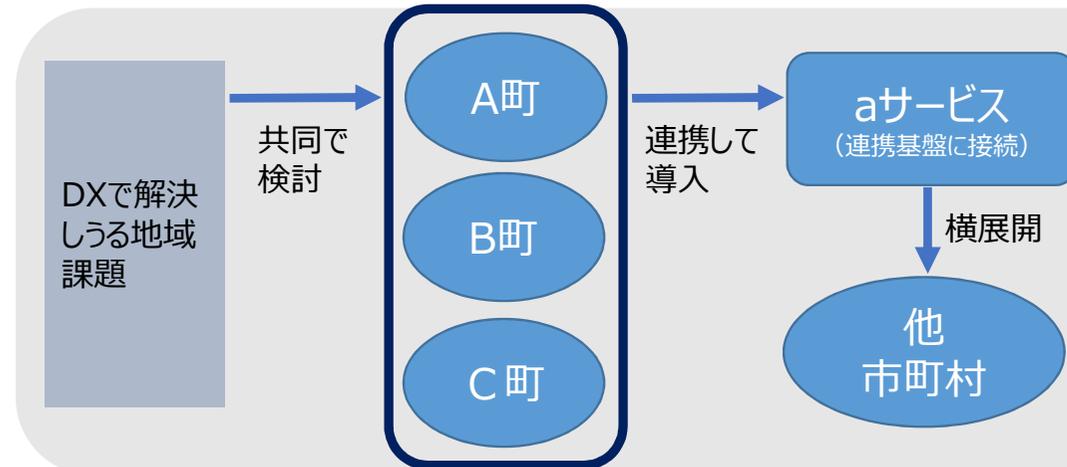
現在：各市町村が個別のサービスを検討・導入



【課題】

- 市町村ごとにシステムが異なり、利用者にとって使いづらい（特に交通や観光等、広域での利用が望ましいシステム）
- コストやマンパワー等の負担が大きい
- 他市町村の導入状況がわからないため、参考にできない、オンプレミスだと横展開がしづらい

目指す姿：複数市町村が共同で検討し、共同で導入。データ連携基盤に接続し、他の市町村にも横展開。



【メリット】

- 広域で同じシステムを利用できるため、利用者にとって使いやすい
- 自市町村に使いやすいシステムを開発できる（先行市町村）
- 他市町村のシステムを簡単に利用できる（横展開市町村）
- 横展開により、費用が低減される可能性がある
※サービス提供者の料金体系によって異なる